

令和4年沼津市教育委員会 第1回定例会会議録

1 日 時 令和4年1月20日(木)
午後3時00分～午後4時08分

2 場 所 沼津市立図書館4階 講座室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名(土屋委員 川口委員)
- (3) 教育長報告
- (4) 議案
- (5) 協議事項
- (6) 報告事項
報告事項1 令和4年二十歳の集い及び新成人議会の実施状況について
- (7) その他
- (8) 報告事項
報告事項2 GIGAスクール構想の進捗状況について

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 土屋葉子、委員 川口浩史、委員 重光純、委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育指導監兼学校教育課長兼情報教育推進室長 遠藤宗男、教育企画課長 矢田陽子、生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 後藤寿代、学校教育課指導係長兼情報教育推進室指導主事 加納真、教育企画課指導主事 栗原克弥、教育企画課指導主事 松岡ミュキ、教育企画課指導主事 岩本智明、教育企画課主任 藁科奏

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

奥村教育長 新しい年を迎えた。本日は大寒であり、1年で最も寒いと感じる時期と言われている。今朝はマイナス2℃の寒さを味わいながらバス停まで歩き、身が引き締まった。寒さとは別に、わずか1か月前の冬至からずいぶん日が伸び、春への準備も感じる。昨年は、教育委員会にとって強く印象に残る出来事や案件が多く、課題はまだまだ山積している。そして現在、オミクロン株による感染は、留まるどころか凄まじい勢いで急拡大している。私達はこれまでの経験を生かし、変異する新型コロナウイルスに立ち向かわなければならないが、昨年よりも笑顔の多い1年にしたいと思う。寅年にあやかり、子供たちのために皆さんとともに「レッツ寅イ！」の精神で頑張っていきたい。今年もよろしく願います。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に土屋委員、川口委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育長報告

奥村教育長

明日オンラインで行う校長会での資料「年頭の所感」を配付した。タイトルにある「既成概念からの脱却」は昨年の教頭会でも触れたが、新年を迎えたので改めて昨年世界中から注目を集めた大リーガー二刀流大谷翔平選手の活躍を取り上げ、沼津市の目指す教育「誇り高い沼津を創造する 貴（たか）き志を持つ人づくり」の実現に向けて、皆さんと共にピンチを笑顔に変える発想と支え合いの気持ちで頑張りたいと思う。

前回の教育委員会定例会翌日12月22日に開催した不祥事対策第三者委員会の報告をする。本委員会の委員は、大学教授、弁護士、公認会計士、臨床心理士、PTA代表の5人である。折しも12月22日の新聞に、令和2年度にわいせつ行為やセクハラを理由に懲戒処分や訓告を受けた公立小中高等学校の教員に関する記事が掲載された。その数は、全国で200人、県内で14人であり、そのうち児童生徒が性暴力・性犯罪の被害者となったケースは、全国で96人、県内では9人に上っている。懲戒免職の事案として、沼津市で起きた不祥事が取り上げられた。この3年間、耳を疑うような不祥事が相次いで発生している沼津市だが、人権意識の高揚を図ることや属人的な対応の難しさに直面している。市内でのこれ以上の不祥事の発生は絶対に許されない。委員からは、今現在、教職員同士の関係性は薄く、犯罪行為の予兆把握は難しい。その中でも、一番早く予兆を感じ取れるのは、同世代の同性の同僚ではないか。違和感をいち早く感じ取り、予防、または管理職に報告し、被害が大きくなる前に食い止めることができないかという意見が出た。また、別の委員からは、担任がクラスで起きた出来事全てに責任を持つ体制であれば、起きた問題を相談できる体制がないと、結局は、自分一人で抱えたり、問題に蓋をしてしまったりする可能性があるのではないかと。常日頃から年代の近い先生がチームを組んで物事に当たるシステムがあれば、人間関係の構築にもつながるとの指摘があった。次回以降検討したいと思う。他にも、悪意を持って学校に勤務する人を事前に見分け意識を変えさせることはできないため、学校内で悪事を起こせないシステムを作ること、悪事を企てる衝動を後押しするストレスをできるだけ減らすことが防止策と考える等の意見が出された。次回は2月8日を予定している。学校教育課からも2回目終了後に報告してもらいたい。

二十歳の集いと新成人議会について報告する。1月9日午前中に、今年はい各校区で従来の地域住民の皆さんの手作りで開催する式典を行えた。感染急拡大前であったため恩師に出席してもらい、開催時間の短縮と式典後のクラス会等の自粛を依頼した。また、今年も平野美宇さんや軽部真一フジテレビアナウンサー、武井壮日本フェンシング協会会長等、沼津に関わる著名人によるお祝いメッセージ動画を作成した。新成人議会では、市長と私が一般質問を3人から受け、私は沼津のキャリア教育の取組と今後の方向性について答弁した。他の新成人議員からは、沼津を離れたことでしみじみと沼津の良さや沼津への愛着を感じる等のコメントが多く聞かれた。学校教育の中で、総合的な学習等を通して郷土愛やシビックプライドを育む重要性を改めて感じた。

最後に沼津市立沼津高等学校中等部入学者選抜についてである。オミクロン株による感染急拡大前であったため、1月8、9日に大きな混乱もなく実施できた。昨日19日に、受検者に結果を通知したと報告を受けた。2学級80人の定員に対し、実質倍率は1.33倍だった。教育長報告は以上とする。

<議案>

奥村教育長 日程（４）議案は、本日は案件なし。

<協議>

奥村教育長 日程（５）協議事項は、本日は案件なし。

<報告>

奥村教育長 日程（６）報告事項である。

報告事項 1 令和４年二十歳の集い及び新成人議会の実施状況について

<二十歳の集いを戸田校区は１月４日（火）、戸田以外の16校区は１月９日（日）に、２年ぶりに中学校区ごとの地域分散方式で地域の方々の企画運営により開催した。出席者数は1,412人、出席率は82.9%となり、一昨年より1.6ポイント増であった。感染防止対策を十分に行い、祝賀企画として沼津にゆかりのある著名人や市長、教育長からのお祝いメッセージ動画の公開等を行った。各会場で友人や恩師との再会を喜ぶ姿が見られた。１月９日（日）午後２時から、時間を短縮し、議員定数を半減する等の感染防止対策を講じた上で新成人議会を市議会本会議場で開催した。３人の新成人議員から市政について質問があり、市長及び教育長が答弁を行った。一般質問者以外の議員は、「ぬまづの誇りとわたしの志」というテーマで一言ずつ発言した。>

（生涯学習課長 資料に基づき説明）

奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。

佐藤委員 初めて新成人議会を傍聴したが、皆さん立派であった。教育長も述べたように、沼津を離れて改めて沼津の良さがわかると多くの方が口にしていました。可愛い子には旅をさせよ、ということかと思う。

奥村教育長 二十歳の集いも全体的にトラブルがなく落ち着いた式典であったと聞いている。新成人議会では、成人の方々が大変頼もしく、これからの沼津を任せられる人に育っていると感じられた。

川口委員 YouTubeでメッセージ動画を見たが、有名な方々からのメッセージに驚いた。再生回数やインスタへの反応はどうであったか。

生涯学習課長 ２、３日前の数字だが、YouTube動画は、2,000を超える再生回数である。インスタグラムは、今日現在で37枚の写真投稿があった。

川口委員 若者の身近なメディアを使った発信は、よい取組である。今後はこういうものが当たり前になっていくと思う。

奥村教育長 今後もメッセージ動画とピカイチ賞等のインスタは続けるのか。

生涯学習課長 メッセージ動画は継続したいと考えているが、インスタについては、検討課題がある。プライバシーの問題で、顔を出すことに抵抗がある人が多い。自分のインスタグラムには投稿しているが、公のインスタグラムへの投稿は遠慮したいという話を多く聞いている。難しい部分があると感じている。

奥村教育長 ほかになければ、本件については報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

奥村教育長 日程（7）その他、何かあるか。

学校教育課長 学校での新型コロナウイルス感染状況について報告する。3学期開始後、全国的に感染者が増え始め、先週急増の様相を見せた。それを受けて静岡県でも地域の感染レベルを1から2へ引き上げる対応をしたことを受け、これまで家庭には、同居の家族が感染者の場合はもちろん、濃厚接触者の場合には自宅待機をお願いしていた。しかし、先週から同居の家族に発熱等の風邪症状がある場合でも登校しないようお願いしたところである。先週の土日から、児童、保護者の陽性報告が出てきた。今週に入り、1クラスの中で複数の陽性者が出る等、文部科学省のガイドラインが示す学級閉鎖の基準を超える学級が出たため、現在、小学校2校で3学級を学級閉鎖している。本日から小学校1校で1学年が学年閉鎖に入っている。閉鎖期間は、今週の月曜日からのところは、土日の2日間も含め月火水の3日間と合わせて5日間、本日から学年閉鎖は、明日金曜日までの2日間閉鎖し、土日で様子を見る。学校では、3密の回避、マスクの着用、手指消毒、こまめな換気という基本的な感染予防対策を続けているが、ここのところ感染の原因となっている部活動等が心配である。校長会の部活動担当と連絡を取り合い、部活動のやり方、土日の活動、対外試合も含めた対応について新たな指針を検討している。近日中に各中学校へ通知したいと考えている。

川口委員 新型コロナウイルス感染症での学級閉鎖の基準はあるのか。

学校教育課長 インフルエンザのように学級の何パーセント等の基準はない。文部科学省のガイドラインには、2人以上の複数の陽性者が出ている場合、または、1人の陽性者と複数の濃厚接触者が出ている場合等の事例が示されている。それらに照らし合わせて判断している。

奥村教育長 これまでは学校全体での臨時休業はあったが、学級閉鎖は今回初である。

佐藤委員 感染者に地域的な偏りはあるのか。

学校教育課長 特にこの地域という限定された様子は今のところ見られない。

川口委員 保健所の判断かもしれないが、1つのクラスで2人陽性者が出た場合、周りの子供たちは濃厚接触者にはならないのか。ならない場合、学級閉鎖になった保護者は不安になる。検査キット等の販売もされているが、何か学校側からそういうものを提供するのか。

学校教育課長 保健所に該当学級での子供たちの状況を確認してもらい、濃厚接触者の有無を判断してもらっている。通常の学校生活では、常時マスクを着用してこまめな換気をしており、お互いに近づくことはあっても長い時間1メートル以内の近距離で接していないため、濃厚接触者はないと判断される。学校に簡易な検査キットがあるため、心配な家庭には要望があれば対応することは考えられるが、今のところ学校へのそのような依頼は聞いていない。

奥村教育長 日本全国を見ると、これまでの3県に加え13都県が、明日から2月13日まで、まん延防止等重点措置に入る。川勝知事が本日夕方に静岡県の方針を決定することになっており、おそらくまん延防止等重点措置を要望すると思う。若年層、特に子供たちの感染が非常に多い。3月以降沼津市も11歳以下の希望者に対してワクチン接種を行う予定である。濃厚接触者の待機期間もオミクロン株であ

ることを前提として、これまでの14日間から10日間に短縮された。しかし、オミクロン株による感染を特定するのは保健所であり、我々が勝手に判断できない。教員もエッセンシャルワーカーに含まれるが、教員の濃厚接触者の待機期間をどうするか、県立学校の対応を確認し検討しなければならない。ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

報告事項2については、公表前の事項が含まれているため当日は非公開としたが、公表されたため公開する。

<報 告>

奥村教育長 日程（8）報告事項である。

報告事項2 GIGAスクール構想の進捗状況について

<昨年度1人1台端末とネットワーク環境を整備し、「沼津市学校教育におけるICT活用方針～N-GIGA～」を策定した。今年度は主に、ICTの日常的な活動や情報モラル教育、プログラミング教育での活用を行動目標として取り組んだ。学校では積極的なICT活用が進み、工夫した取組が多く展開された。教科の授業だけにとどまらず、児童生徒が自律的に端末やクラウド環境を利活用する姿や、教職員の働き方改革につながる取組も多く見られた。夏には端末の家庭への持ち帰りを実現し、緊急時に学びを止めない取組も進んだ。学校におけるICTの活用は、当初の計画よりも大幅に進み成果を上げている。具体的な内容については、広報ぬまづ2月1日号連動動画「すごいぞ！ぬまづのICT」にまとめている。今年度は、様々な場面でICT活用が進んだ一方、使うことが目的化し、本来手立てであるはずのICT活用が目的になっている場面も散見された。来年度以降は、学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の育成、情報モラル教育とプログラミング教育の推進、CBTを活用した学習や個別最適な学び、教職員の多忙化解消等を積極的に進めていく。>

(学校教育課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。ちょうど1年前に各学校にクロームブックが配布され始め、皆さんも心配したと思う。本件に関する御意見、御質問等いかがか。

重光委員 クロームブックではGoogleを活用しており、児童生徒の氏名、学習の指導状況等、Googleが全ての情報を管理している。クロームブックの活用で便利になった反面、一企業がプライバシーを含めた情報を取得していることは、恐ろしい時代になったというのが正直な感想である。子供がクロームブックを持ち帰り、AIドリルや先生とやり取りをしているようだが、保護者は子供が何をしているのかよくわからない。子供がクロームブックを開き勉強していると思ったら、YouTubeで音楽をかけていることもある。技術的に可能であれば、クロームブックでアプリケーションごとに使用制限時間を設定してほしい。また、AIドリルの取組は自由であると聞いているが、目標を示していただけるとありがたい。子供は目標がないと上のレベルになかなか進まないようである。クラウド等でAIドリルの進捗

- 状況を保護者も確認できるシステムがあるとよい。子供がクロームブックを使用していると勉強しているように見えるが、勉強していないこともあるため、保護者がクロームブックの使用制限や監督できるシステムがほしい。クロームブックの持ち帰りを非常に心配している保護者もいる。どこまで保護者が関わるべきかわからないが、少なくとも小学生の間は、保護者がコントロールし、子供に枷をかけることが必要だと思う。子供は上達が早く、インターネットの使い方もすぐに覚え、タイピングも速い。子供のうちにICTに触れるメリットは多いが、それによるデメリットもある。そこをどのように調整するかが、今後の課題である。
- 学校教育課係長 沼津市では自律的に判断できる子供を育てたいと考えており、基本的にはクロームブックの使用に関する制限や禁止は極力しない方向でスタートしている。家庭の協力を得ながら発達段階に応じて対応していきたい。技術的に言えば、現在は最低限の制限しかしていないため強めることは可能だが、子供たちが自分で考え判断する機会を与えていきたいと考えている。AIドリルについては、ドリル会社によっては保護者が進捗状況を把握できる機能があるが、多くはそのような機能は持っていない。先生方は、AIドリルの進捗状況がわかる管理機能を持っており、誰が何分やったか、動画を見たが途中を飛ばした等、全て把握できる。
- 奥村教育長 保護者が自分の子供に対して不安がある場合、担任の先生に尋ねれば使用状況等について教えてもらえることもある。
- 重光委員 先生は、子供がクロームブックでネットサーフィンしている時間を把握できるのか。
- 学校教育課係長 担任の先生には、クラスの子供が夜何時まで何を見ていたか等はわからない。それは、教育委員会の管理者数人のみが把握している情報である。毎朝、誰が何時までログインしていたかをチェックしており、夜遅くまでログインしている児童生徒がいる学校には連絡をしている。なりすまし等不正なアクセスをしている疑いがある場合も学校に連絡し、担任の先生から聞き取りをしてもらっている。
- 奥村教育長 子供たちが自律的に判断できるようになることを目指しているが、そうは言いながらも子供にとっては魅力的なものであるため、自律的に抑制するのは難しい。
- 重光委員 ノーデジタルメディアデーは、どうしたらいいのか。
- 学校教育課係長 家族と一緒にテレビを見ないで本を読む日として、ノーデジタルメディアデーに取り組んだ経過がある。重光委員と同様に、子供がクロームブックで何を見て、何をしているかわからず不安だという家庭の声に対し、ある学校では、月に1日、家族と一緒にクロームブックを使う日を設定し、ノーデジタルメディアデーの逆パターンで、家族と一緒にクロームブックを使って過ごす日に取り組んでいる。各校でこのような取組が進むことが、保護者の不安を取り除くことにつながると考えている。
- 奥村教育長 クロームブックをあくまでもツール、手段として捉え、デジタルとアナログという意味合いでもバランスをとって使用し、どちらかに片寄るべきではないと考えている。
- 土屋委員 子供が学校から帰宅し、クロームブックをランドセルから取り出して楽しげに使っているのを見ると、まるで学校に仕事へ行った会社員のようである。家で楽しんで仕事をやるような、とても微笑ましい光景であり、これで子供たちの能力が向上すれば本当に素晴らしいと思う。その一方、先生方の仕事量はいかがか。負担が大きくなり、苦しんでいる先生がいるのではないかと心配している。

- 学校教育課長 新たなことを始めるにあたり、先生方が負担を感じることはある程度覚悟していた。特に年配の教員から不慣れな道具を使うことに対する声が上がったことは事実である。しかし、各校でICT活用に堪能な職員が中心となり、研修とは言いながらも和気あいあいと同僚性を生かし教え合う姿が見られた。今回の苦労が、今後多忙化の解消に役立っていくと期待している。
- 学校教育課係長 1人1台端末導入前にはできなかったことが、いろいろとできるようになった。大変になった部分も当然あるが、子供が変わり、授業が変わり、できることが増えたメリットの方が大きいと受け止めている。特に授業改善や効率化につながっている。ドリル等は、これまで教員が丸をつけていたが、AIドリルを使うと子供が解答した瞬間に答え合わせができ、次の問題まで示唆される。そういった意味でも学力向上につながると教員は実感している。今までは先輩が後輩にという校内でのOJTの形が逆転する場面もある。コロナ禍で途切れかけていた人間関係や学校間のつながりが、これまでと異なる新しい形に生まれ変わってきている実感がある。
- 奥村教育長 重光委員から前回、クロームブックがあると、夜でも先生が子供の問いかけに回答しており大変だという話があった。私は、ICT活用に堪能な担当係長に昨年从今年にかけて、何回教育長室に来てもらっているかわからない。100回を超えているのではないか。その度にいろいろ覚えながら刺激を受け、自分の技能も向上していると思う。どの学校でもベテランの先生方が、ICT活用に堪能な若い先生方に、必死にかじりついてやり方を聞いている姿が見られ、同僚性があり微笑ましく感じる。やはり課題は、学校間格差、教員間格差がどれだけなくせるかである。先程視聴した動画「すごいぞ！ぬまづのICT」にも出てきた支援員について、昨年も質問があったが、地元の企業の協力により週に1回、子供に直接教える、あるいは、先生方にプレゼンテーション等、技術的なことを教える等、学校のニーズに応じた支援の取組を始めている。さらに来年度以降も広げる体制を整えている。沼津市では文部科学省が推進するICT支援員を導入しないが、地元の高専や企業、あるいは、企業を引退後のICTに堪能な方に支援してもらおう方向で進めたいと思っている。広報ぬまづの2月1日号にQRコードがあり、そこから動画「すごいぞ！ぬまづのICT」が見られる。紙面を6ページ割き、かなり力を入れている。この1年間子供たちも先生方も本当によく頑張ってくれ、沼津市のICT教育が急激に進んでいる。情報教育推進室の頑張りを評価したい。
- 佐藤委員 今動画を見て、子供たちが友人と話し合っって学習を進めているところに良さを感じた。機械を使うことで子供同士のコミュニケーションがなくなる心配が払拭された。報告書にあるように、メリットがあれば必ずデメリットもあり、今後それも改善されていくと思う。動画に関して、聞こえない方にも見ていただけるように字幕があるとよいと思う。耳が遠い方、聞こえにくい方もいるので、改善することで活用の幅が広がると感じた。
- 奥村教育長 広報ぬまづへの掲載は、保護者だけでなく年齢層を問わず多くの市民の方に知らせることであるため、貴重な意見に感謝する。できるところからなるべく早くやっていきたい。コロナによる学級閉鎖や学年閉鎖では、ICTが学びの保障のツールとして生かされていく。今年度は夏休み期間を延長し準備に取りかかったが、沼津市はこのような形で学びの保障もできるようになったことを御理解いただけたと思う。

重光委員 一小、二小、千本小など学校間をサテライトでつなぎ、少人数学級の児童生徒が、他の学校の同じ学年の授業を受けられるようにすれば、少人数の学級の子供たちにはよい機会になると思う。将来的に余裕ができれば、中継して授業を行うことを考えてほしいと思う。

奥村教育長 皆さんの貴重な御意見を伺いながら、さらにICT教育が活発になっていくことを願う。感謝する。
ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。
ほかになれば、本日の定例会を終了する。

午後4時08分 閉会